

NPO 法人せいしとらんし熊本
2022 年度年次報告書

2022.4

2023.3

SEISHI to RANSHI KUMAMOTO
ANNUAL REPORT



NPO 法人
せいしとらんし熊本
Comprehensive Sexuality Education in Kumamoto

PROLOGUE

私たちは、性教育で 「社会平和」を目指しています。

「性」のあり方は生まれた時から変化していく。一人ひとりにそなわる自分自身の「性」。その変化を受け止め、「成長しているんだ。」と思えたら。そして、日本がそんな人で溢れたなら、日本の未来はもっと明るく、大きく成長していけるはず。私たちは一人ひとりを大切にかがやかせるタネをまき、その成長を見守る環境をととのえていくことで、人々の未来＝日本の未来がより輝いていけると信じています。性教育で日本を輝かせる。私たちは性教育を通して、日本の未来に貢献していくことを誓います。



NPO 法人せいしとらんし熊本

理事長 中村 和可子

青空と白い入道雲のコントラストが美しい季節がやってきました。

皆様のご支援のおかげで、NPO 法人せいしとらんし熊本は、今年度11月に4周年を迎えます。

性について学び始めた2012年頃を振り返れば、仕事も人間関係も子育てもうまくいかず、もがき苦しむ反省の日々でした。学びを進めることで、自尊心が育っていないこと、被害者意識の中で生きていたこと、そんなことに気づかされ、捉え方を変え、考え方を変え、解釈力をつけ、行動を変えてきました。

まずは自分自身のことを知り、認めることの大切さを性教育を学ぶ中で知ったのです。そうすることで自然と思いやりは育ちます。だって、自分のことが大切だと思える人は、自然と他者のことも大切にできますから。「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」(ユネスコ前文より)

昨年度(2022年4月～2023年3月)から、もうすでに3ヶ月が過ぎようとしています。活動し始めた当初から「親子の絆コミュニケーション」と題して、親子向け性教育を行なってきたこともあり、高校からのご依頼で講演する題目を先生方と考える中で「コミュニケーションスキルを高めるために～今、あなたに伝えたい性のこと～」と題して行えた高校が、今年度、3校あります。大人や社会の意識改革が進んできた証拠だと嬉しく思っております。

「性教育＝生教育」と「自ら幸せな人生を選択すること(life design)」や「自分の人生の主人公は自分自身(live independently)」であることを伝え続けられていることに、あの頃の私は想像だにできなかったでしょう。

当法人の性教育講師(SPT)養成講座を修了し、登録講師として全国各地で、同じ志の下、活動している仲間のおかげで私も邁進できています。これも、皆様のお力添えで活動を継続できたからこそです。感謝の気持ちでいっぱいです。遅くなりましたが、昨年度、1年間の活動を報告させていただきます。ぜひ、ご一読ください。

今年度も変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

ご挨拶	… P.2	依頼講座	… P.11	これからのせいらん	… P.16-17
数字で見る2022年度	… P.3	主催講座	… P.12	収支報告	… P.18
性教育と日本の現状	… P.4-5	メディア・イベント	… P.13	支えてくださったみなさま	… P.19
プロジェクト①～⑤	… P.6-10	SPTのミリョク!	… P.14-15		…

数字で見る 2022 年度のせいしとらんし熊本

2022.4.1-2023.3.31

2022年度、せいしとらんし熊本は、4つの助成に採択していただきました。また2021年度助成いただいた、一般社団法人コード・フォー・ジャパン「NPtech Studio」にて、全国アンケート調査を行い、その報告書を作成、ホームページにて公開しております。児童・生徒向けの講演のみならず、その周りを取り巻く大人(教職員・保護者・支援者)向けの講演を行うことができました。また、全国に広がる当法人性教育講師陣が各地域で活動し、2022年度は、総数7717名と多くの方に参加していただきました。

プロジェクト総数 5

未来輝く！
いのちを慈しむ
ハイブリット
包括的性教育と
相談事業

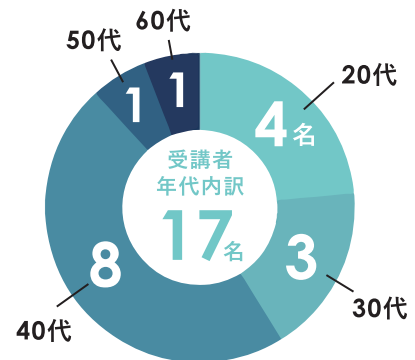
中高生向け冊子
「きみのーと」

初経・射精を
親子で楽しみに
待つ秘訣とは?!
動画制作①

子どもの
成長発達に応じた
包括的性教育
動画制作②

全国アンケート
調査白書
「小学生の子どもを
持つ保護者の性教育
に関する意識調査」

性教育講師(SPT) 養成講座受講者 17名



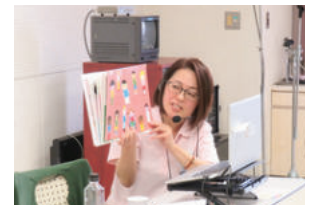
性教育講演・講座受講者総数 7,717名

法人講演参加者 **3,868**名

法人主催講座参加者 **300**名

SPT 自主開催
性教育講座参加者 **3,157**名

性教育絵本
読み聞かせ参加者 **385**名



性教育の国際的な指針「包括的性教育」

包括的性教育とは

生殖や身体の仕組みだけでなく、性の多様性や人間関係、幸福などの幅広いテーマを包括的に学び、発達段階に沿って繰り返し学んでいく性教育のことです。せいしとらんし熊本では「人権・安全・健康・コミュニケーション」の視点から活動しています。性教育の国際的な指針となる、ユネスコが提唱する「国際セクシュアリティガイダンス」では、5歳を開始年齢とし、下記8つのキーコンセプトで年齢発達に合わせて繰り返し、継続的に学習することが推奨されています。



人権



安全



健康



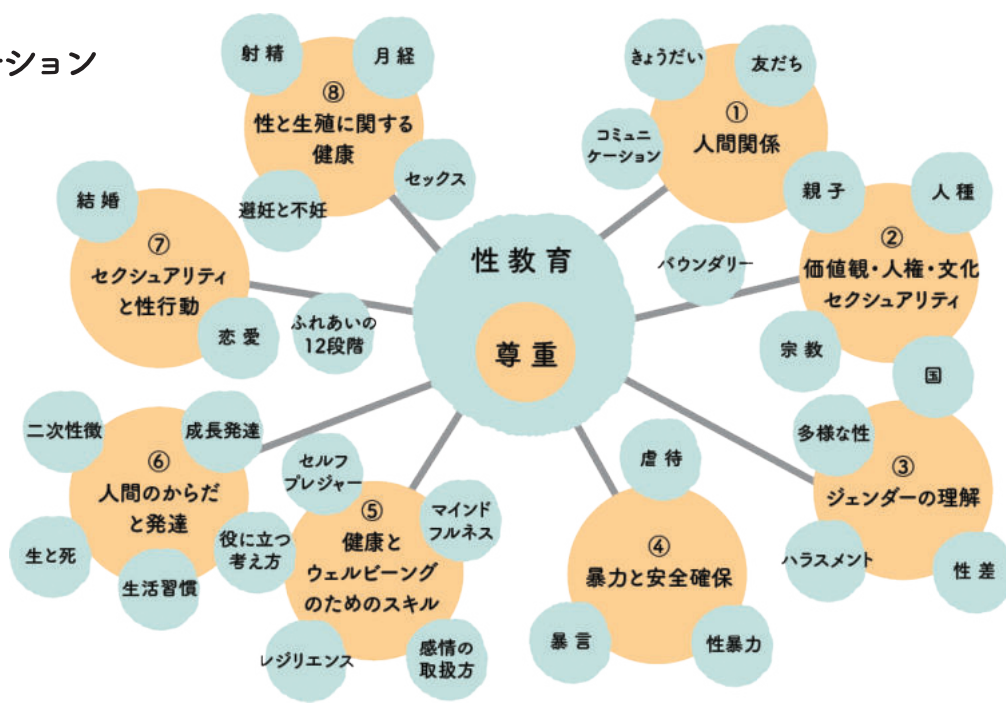
コミュニケーション

8つのキーコンセプト

- ① 人間関係
- ② 価値観・人権・文化・セクシュアリティ
- ③ ジェンダー
- ④ 暴力と安全確保
- ⑤ 健康とウェルビーイング
- ⑥ 人間のからだと発達
- ⑦ セクシュアリティと性的行動
- ⑧ 性と生殖に関する健康

コミュニケーション

人権



健康

安全

包括的性教育を学ぶことの効果



■ いのちの大切さを理解し、自己肯定感・他者尊重をアップすることができる。



■ ジェンダーに関わらず、誰もが生まれてから死ぬまでの生涯を通じて、性の課題と向き合っていることを理解し励ますことができる。



■ 自分の人生を自分で選択できるために、自身の選択が自分や他者のウェルビーイングにどう影響するのかを考えることができる。

日本の性教育の現状

国の教育方針

2021年から一部内容がアップデート： 第二次性徴と生殖が中心＋生命(いのち)の安全教育

生命(いのち)の安全教育として「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう全国の学校において「生命(いのち)の安全教育」を2021年度より推進。

文部科学省 性犯罪・性暴力対策の強化について https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen



教育現場の現状

国の教育方針はアップデートされたが、現場では「知らない」「分からない」「教えられない」との声があがっており子どもたちへの教育格差が生まれている。

私たちができること

私たちは「包括的性教育を通していのちを慈しむ」を軸に、幼児から大人までのさまざまな方を対象に「人権・安全・健康・コミュニケーション」の視点から包括的に性について伝えています。国の方針を理解し、依頼先にあった性教育講座や講演会を開催しています。ある一定の年齢段階でこのテーマをやればよいというわけではなく、各テーマをその年齢に合わせて繰り返し積み重ねていき、自分が大切な存在であることを知り、いのちを慈しむことを性教育を通して学んでいきます。



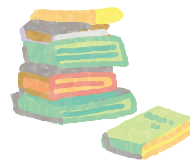
せいらん設立までの歴史

設立前から「私が私として生まれてきてよかった」と思える性教育を理事長中村が実施。この感覚を大人にもってもらいたいと「大人こそアップデートを!」との思いで活動をつづけてきました。

せいらの性教育の特徴



■ 各年齢の発達段階に合わせた包括的性教育が提供できる。



■ 実績が豊富。性的なことだけでなく、人生や親子関係について講師陣が学んでいる。



■ 専門家という立場だけでなく、寄り添い語り合う人としての存在。

性教育講演の主な内容(5・6歳～小学校低学年)

目 標	<ul style="list-style-type: none">● 自分や周りの人のいのちの大切さを、一人一人違っていることの素晴らしさを通して伝え自分らしさを好きになれる。● プライベートゾーンを理解でき、自分や周りの人のプライベートゾーンを大切にできる。
人 権	男女の違いってなんだ? / 男の子らしさ? 女の子らしさ? 自分らしさでいい! / 肌の色や髪の色 / いろんな家族のカタチ
安 全	プライベートゾーン / NO.GO.TELL / 体の権利
健 康	体のせいけつ / いのちの大切さ「あかちゃんってどうやってうまれるの?」 / へその緒とお母さんのおはなし / 体の中から外につながっている穴のはなし
コミュニケーション	いいタッチと悪いタッチ / 同意(許可をとるということ)

未来輝く！

いのちを慈しむハイブリット包括的性教育と相談事業

supported by 新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成

実施期間：2022年4月1日-2023年3月31日

コロナ禍における自粛生活の影響などによる性的トラブルを予防するため、休眠預金を活用し、熊本県下の小学生がオンラインとオフライン(ハイブリッド)で包括的性教育を学び、安心して相談ができる窓口を周知し、一人だけで悩む人が少なくなるよう環境を整える事業を実施しました。また、「子どもに性教育をどうやって伝えていいかわからない」といった声が多く、熊本県下の小学生とその身近な支援者、保護者を対象にアンケートを行い、性教育に関するニーズや思い、課題を明確化できるようアンケート調査も実施しました。



取り組み

1 包括的性教育の啓発

オフラインとオンラインで性教育について教育機関や家庭で学べる環境を整えるために、オフラインでは絵本を220カ所に無償提供。また、オンラインでは「小学生向け親子で学べる性教育サイト」を開設し、ハイブリッドで性教育に取り組める環境を目指し活動。

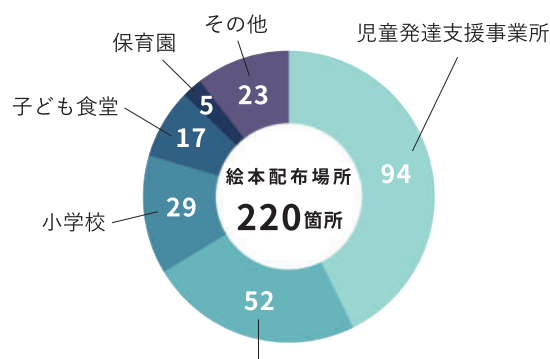
■ 絵本無料配布と読み聞かせ(希望箇所)

絵本配布場所 ▶▶▶ 220箇所



配布絵本：「性とからだの絵本」(堂心社)

【配布先内訳グラフ】



【子どもたちの声】

小学1年生

もっと体を大切にしたいくなりました。また聞きたいです。

小学3年生

プライベートパーツという新しいことばをして大切ということもした。

【支援者の声】

児童発達支援事業所スタッフ

現場のスタッフが絵本配布をきっかけに子どもたちにプライベートゾーンや距離感について伝える様子が見られるようになり、とてもうれしく感じています。

【わかったこと】

読み聞かせ時に保護者や支援者の「これも性につながるんだ！」という声から、より包括的な性についての認識を広げることがトラブル防止に必要な不可欠

■ 小学生向け「親子で学べる性教育サイト」



WEBサイト アクセス数
▶▶▶ 1,500回



親子で安心して見れる性教育サイトをコンセプトに、小学生向け性教育サイトを制作。上記「いのち」「こころ」「からだ」3つのカテゴリーで、小学生の時期に抱くよくある性に関する疑問を取り上げ、当法人の性教育講師が疑問に答える形で掲載。まずは性の疑問が日常にあることを知る機会になり、性についての相談のハードルを下げることを目指す。



相談窓口をトップページにて掲載し日常で性の問題があってもここで相談ができると親子で認識してもらうことを目指す。相談窓口は電話(フリーダイヤル)と公式LINEを開設し学生から保護者の数件の相談が寄せられた。

2 相談事業

性の相談が気軽にできるようにフリーダイヤルと公式LINEを新たに開設。配布した絵本に右図の相談先記載のステッカーを貼り、熊本にも性の相談場所があることを周知することで性について一人で悩まない環境を整えることを目指し活動。

■フリーダイヤル開設
利用件数 ▶▶ 5件



■公式LINE開設
公式LINE登録者数 ▶▶ 116名



【わかったこと】

- ・フリーダイヤルや公式LINEでの相談は件数が伸びず、オンラインでの相談は相談者にとってハードルが高いこと
- ・講演後や読み聞かせ後に数件の相談があったことから、相談できる身近な存在となるためには対面が相談者にとっても安心でき、相談しやすいこと

3 実態調査(アンケート)

性教育に関する小学生の保護者・支援者を対象に子どもへの性教育についてのアンケート調査を実施。現代の性教育の課題やニーズを明らかにし、子どもたちがより良い教育を受けることができるよう、社会に働きかけるために実施。

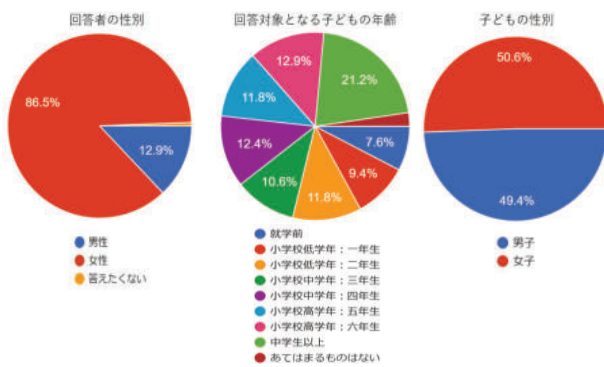
■保護者/支援者対象アンケート

アンケート回答者総数 ▶▶ 保護者向けアンケート:188名
支援者向けアンケート:194名



【アンケート集計】

■回答者

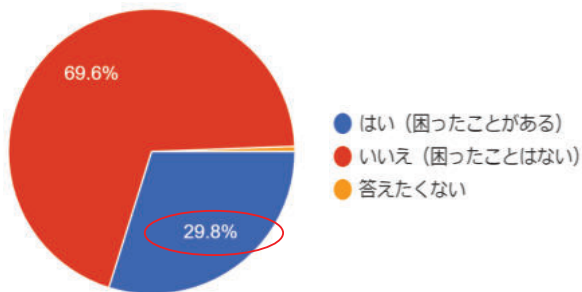


■アンケート項目

- ①お子さんの性的な言動で困った経験の有無
- ②子どもの性教育を主・サポート的に行うべき立場の人は誰か
- ③小学校のカリキュラムにあると思う性教育の内容
- ④お子さんに性教育に関する内容について学んでほしいと思う時期
- ⑤お子さんに家庭で伝えた・これから伝える性教育に関する内容
- ⑥子どもの性被害が発生する原因

■結果(一部抜粋)

- 小学生保護者の大体3人に1人は性的言動に困った経験あり



【わかったこと】

- ・7割以上の保護者自身が大切なことだから伝えたいと思っているものの伝え方がわからないため子どもに伝えていないこと
- ・小学生で習うと思う性教育に関する内容では、性交は60%以上の保護者が習っていないと認識しているが、学んで欲しい時期を答える内容では、80%以上の保護者が小学生の時期に学んでほしいと答えており、学校の指導内容と保護者の習ってほしいと希望する時期にギャップがあること

事業を通しての成長

- 子どもたちが体の大切さ、気持ちの伝え方に気づき、支援者から包括的性教育の必要性を感じたとたくさんの声があった。
- 保護者から「絵本を使った方法なら私にもできそう」などの感想が寄せられ、家庭での性教育に取り組むきっかけをはぐくむ機会となった。
- 絵本配布時やお話会時に多くの相談が寄せられ、相談を待つだけでなくお話をすることで、支援者や保護者自身が性教育に対する思いやニーズを再確認し、相談できる安心感につながっていた。
- 当法人も地域の性教育団体としての認知度が上がり、団体内の協力関係が進み、小学校の校内研修や子どもたちへの性教育講演依頼も増加している。

中高生向け性教育冊子 きみの一と

第18回九州ろうきんNPO助成(3年継続)

【監修】医療法人フェチリタ前田産婦人科医院 前田隆宏

実施期間:2022年5月-2025年1月

熊本県内の中高生に向けて「正しい性知識」を載せた冊子を制作しました。講座内で学生さんからよく聞かれる疑問や質問を織り交ぜつつ、この時期に知っておくべき正しい性の情報、妊娠した時の対応方法、性の困り事が起きた場合に相談できる連絡先を掲載。この冊子は当法人が講座依頼や相談支援などで関わる中学・高校の在籍生徒をはじめとする熊本県内外の中高生、フリースクールや不登校支援団体の活動に参加する生徒、児童養護施設、子ども食堂など、10代の子どもたちに配布しています。「自分自身を理解し、自分に最適な選択肢を自身で選び、納得のいく人生を歩んでいく学生さんのお守りになりますように」という思いを込めて制作を実施しました。



きみの一と(表紙)
2022年版

取り組み

1 年目

冊子制作期間:2022年5月 - 11月 / 印刷数:8,000冊

冊子:全16ページ(A5サイズ)

配布期間:11月より開始(無料配布)

配布先:熊本県内外の中高生および教員・保護者 /

フリースクールや不登校支援団体の活動に参加する生徒

-今後-

2 年目

印刷数:10,000冊 / 配布先:同上

予定:

■子ども食堂で性教育講座イベントを各所で行い配布

■各学校への配布は引き続き行う

3 年目

印刷数:10,000冊 / 配布先:同上

これまでの実績とみんなの声

配布先一覧:高等学校/中学校/小学校/特別支援学校/不登校支援団体/放課後等デイサービス/児童福祉施設/児童相談所/助産院/企業/個人/その他

配布数:8,000冊

学生の声

私には関係がないと思うことも書いてあったけれど、読んだ後は知っていた方がいいことだと思いました。学校で習わないことばかりで知らないことだらけでした。みんなが読むといいと思います。

支援者の声

もしもの時に自分で考えて選択できるような、選択肢をたくさん教えてくれてわかりやすかったです。また、文章の中で遣われてる優しい言葉が印象的で、きみの一とが「あなたの味方だよ。」と云ってくれてる気がしました。



初経・射精を親子で楽しみに待つ秘訣とは?!

- 性の会話は親子のハッピータイム -

令和4年度熊本市子どもの未来応援基金

実施期間:2022年7月20-10月20日(配信期間)

なかなか親子では話しづらい性の話。いざ、子どもが初経・精通を迎える日が来ても、伝え方がわからないというお悩み解決のヒントとしての動画を制作しました。また、小学生の頃に変化しはじめる「体」と「心」についての動画を保護者向けと子ども向けにそれぞれ制作しています。子どもたちが自分の体の変化を肯定的に、そして「成長しているんだ!」と自分の成長を楽しく受け止め、体や心の変化について親子で一緒に学ぶ機会を動画を通してつくれるように企画しました。

取り組みと視聴者の声



1 保護者向け動画配信

視聴回数:1,374回



保護者の声①

性はどこかタブー視してしまうがちだが、きちんと向き合うこと、まずは大人がしっかり向き合うことが大切だとした。



保護者の声③

親子で一緒に準備をしておくこと、理解しておくことで、成長を喜んだり困った時の相談相手になったりできるのだなと改めて感じました。



2 アンケート回答



保護者の声②

子どもが自身の身体を大切にするためには、大人がどんな声かけや受け止めをすればいいか考えるきっかけになりました。



保護者の声④

親子で一緒に準備をしておくこと、理解しておくことで、成長を喜んだり困った時の相談相手になったりできるのだなと改めて感じました。



3 こども向け動画配布

視聴回数:166回

子どもの成長発達に応じた包括的性教育

令和4年度くまもと・わくわく基金

実施期間:2022年7月20-10月20日(配信期間)

子どもの性被害が後を立たない今、子どもを性被害から守るための手立てとして注目されている子どもへの性教育。学童期までに知っておくべき性の学びについての動画を保護者と子ども向けにそれぞれ制作しました。この動画を通し、保護者が家庭における性教育の重要性を知り実践することで、子どもたちが自身や他人の身体の大切さを認知するきっかけとなり、それが性被害予防の啓発となることで、身近な子どもの性被害をなくすことを目的に企画しました。

取り組みと視聴者の声



1 保護者向け動画配信

視聴回数:750回



保護者の声

なんとなく避けがちな話題。でも子どもと性についてしっかり話さないとな。と思っていました。まずは自分が学ぶことが大切だと実感し勉強になりました。



2 アンケート回答



小学校職員の声

大人が正しい事をしっかりと知り、子どもの発達段階に応じた必要な関わり、教えを提供してあげることが本当に大切だと改めて感じました。



3 こども向け動画配布

視聴回数:302回

全国アンケート調査

小学生の子どものを持つ保護者の性教育に関する意識調査

supported by 一般社団法人コード・フォー・ジャパンNPTEch助成

【協力】STO(ソーシャル・テクノロジー・オフィサー)石井哲治 / 安場直史

実施期間:2022年4月19日~2023年4月30日(2021年度:助成/2022年度:報告書作成)

子どもたちがより良い教育を受けることができるよう社会に働きかけるため、現代の性教育の課題やニーズを明らかにすることを目的とし、小学生の保護者対象に「性教育に関する実態(意識)調査」を実施しました。その際、性教育に対する保護者の認識・子どもたちの現状とのギャップを把握することを目指しました。



調査方法

期間:2022年4月19日~4月22日 / 方法:インターネットによるアンケート

対象:小学生の保護者の方/回答者数 3,000人

- 日本全国を対象とし、子どもの学年・性別、保護者の性別が均等になるよう実施
- 複数の子どもがいる保護者の方には一番上の子どもについて回答いただくよう案内

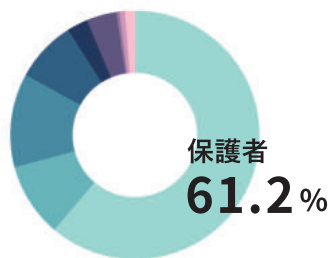
調査結果概要(一部抜粋)

ホームページにて掲載中



結果 ①

Q3:小学生に対して性教育を実施するのが最適と思う立場の人 Q4:小学生で習うと思う性教育に関する内容(複数回答可)



主に行うべき最適な立場の人として、61.2%の保護者が「自分」と回答。次は、小学校の養護教諭で12/2%。サポート的な立場としては50.8%が小学校の担任の先生が最適と思うと回答。

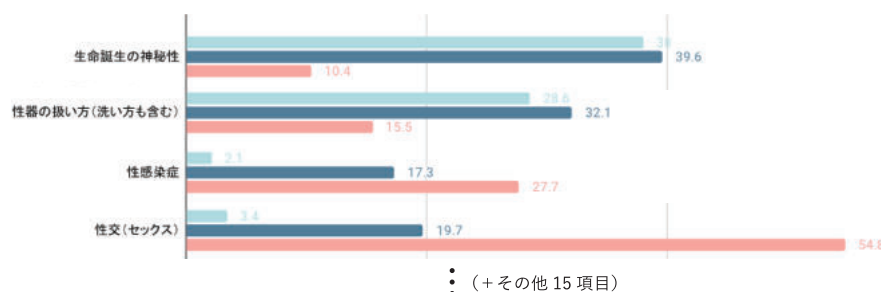
■生命の誕生	87.9%
■プライベート部分を大切にすること	61.3%
■性の多様性	57.6%
■第二次性徴の体と心の変化	54.7%
⋮	
■性交	27.4%

小学校で取り扱う内容と、保護者が習うと思っている項目にギャップがある。小学校の指導要領について「人の受精に至る過程は取り扱わないものとする(小5理科)」となっているが27.3%(約4人に1人)の保護者は、小学生のうちに学ぶと思っている。

■性教育を実施するのは保護者が最適と感じてはいますが、学校側の性交は扱わない方針と保護者の学んでほしいと思う時期に認識の差があることがわかる。性交は保護者も伝え方がわからない項目で一番多く、結果的に誰も教えていないことが問題です。それを補う形で当法人が介入し、性教育を行うことで、双方の感じているギャップを埋めることが可能となります。

結果 ②

Q6:性教育に関して、家庭でお子さんに既に伝えた内容・これから伝えたい内容・伝え方がわからない内容



どの項目に対しても「伝えたいが伝え方がわからない(難しい)」と感じている。

保護者も早期(小学校)からの性教育の必要性を感じているが、伝え方がわからないとの回答をみても保護者の困り感が大きいと感じている。関係機関よりも身近な相談相手、性教育を伝えていく存在として、積極的に保護者とも関わりを持つことで、保護者の安心感につなげることが可能になる。

依頼講演

2022年度も幼児から大人まであらゆる年代を対象とした性教育講演のご依頼をいただきました。

6 june	2	学校法人 滋慶学園 福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校		
	21	ルーテル学院中学校 2年生		
	29	熊本県立八代工業高等学校 (定時制) 全校生徒		
7 july	4	ハンズハンズ (子ども食堂) 保護者		
	6	熊本県立熊本農業高校 3年生		
	12	益城町立益城中学校 3年生		
	15	熊本県立熊本工業高校 (定時制) 全校生徒		
9 september	30	縁側moyai		
	2	菊池市立七城小学校 4年生		
	5	熊本市立月出小学校家庭教育学級		
	6	令和4年度「くまもとスタイル」推進事業		
10 october	14	立命館大学みらいゼミ		
	11	熊本県養護協議会ケアワーカー部会		
	14	熊本県立甲佐高等学校 全校生徒		
11 november	27	熊本県立八代工業高等学校 (全日制) 2年生		
	4	熊本県立天草高等学校 (全日制) 全校生徒		
	11	菊陽町養護教諭部会		
12 december	22	熊本市男女共同参画センターはもにい		
	3	旭志福祉会 北合志保育園 保護者		
	7	合志市立西合志東小学校 PTA 動画提供		
	7	熊本県立かもと稲田支援学校 高等部		
	13	佐賀市立北川福小PTA学級委員会 3年生		
	13	熊本県立菊池農業高等学校 1年生		
	17	熊本市立託麻原小学校 PTA		
2023 1 january	18	南阿蘇ケアサービス (南阿蘇食堂) 親子		
	26	北区療育サロン家族の会		
	27	熊本県立清水が丘学園 児童		
	29	熊本市西区PTA研修会		
	30	熊本市立画図小学校 教職員		
2 february	31	益城町立津森小学校 6年生・保護者		
	1	菊池市立七城小学校 教職員		
	10	熊本市立健軍小学校家庭教育学級		
	20	児童福祉施設 愛隣園 職員		
	24	美里町立砥用中学校 3年生		
	27	八代市立八千把小学校PTA 5・6年生		
3 march	3	山鹿市立鹿北小学校 5・6年生		
	14	山鹿市立鹿本中学校 1年生		

主催講座

2022年度も幼児から大人まであらゆる年代を対象とした性教育講座を開催しました。全国のSPT（当法人認定性教育講師）が講座を担当し、オンラインで開催しています。

4
april

17 生理と射精
対象：小学生（親子参加）

くみちゃん（福岡）

5
may

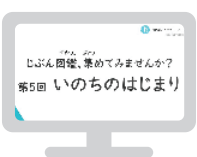
8 じぶんのなかにあるきもち
対象：小学生（親子参加）

さおりん（東京）


22 まわりのひとのころころ
対象：小学生（親子参加）

みっちゃん（熊本）

6
june

12 いのちのはじまり
対象：小学生（親子参加）

なっちゃん（東京）

7
july

18 イマドキ中高生のSNSトラブル！
子どもたちのSOSに備えよう
対象：保護者

おりちゃん（熊本）
びーちゃん（神奈川）

8
august

21 じぶんけんきゅうしつ
対象：小学生（親子参加）

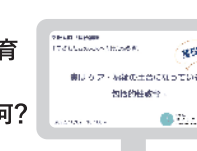
なっちゃん（東京）

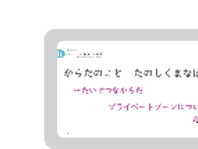
9
september


4 家庭ではじめる性教育
①はじめのいっぽ
対象：保護者

みっちゃん（熊本）

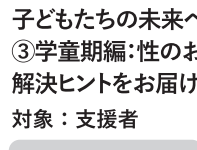
10
october

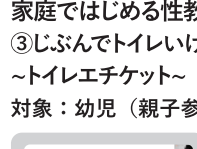
2 子どもたちの未来へ向けた性教育
①基礎編：包括的性教育って何？
対象：支援者

びーちゃん（神奈川）

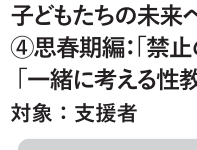
16 家庭ではじめる性教育
②たいせつなことをたのしくまなぼう
対象：幼児（親子参加）

ひとみちゃん（熊本）

23 子どもたちの未来へ向けた性教育
②幼児期編：輝け未来！
今日からできる性教育
対象：支援者

あやっぺ（熊本）

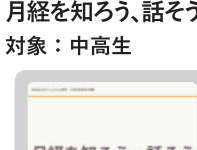
11
november

6 子どもたちの未来へ向けた性教育
③学童期編：性のお悩みの解決ヒントをお届け！
対象：支援者

ゆっきー（熊本）

12 家庭ではじめる性教育
③じぶんでトイレいけるかな？
～トイレエチケット～
対象：幼児（親子参加）

さおりん（東京）

27 子どもたちの未来へ向けた性教育
④思春期編：「禁止の性教育」から「一緒に考える性教育」へ！
対象：支援者

歌ちゃん（北海道）

12
december

18 月経を知ろう、話そう
対象：中高生

まさきちゃん（新潟）

2023
1
january

24 だれもがこちよい社会の実現に向けて
対象：大人

わかちゃん（熊本）

せいしとらんし熊本の主催講座

- 5つのグループで構成
- 幼保
- 施設
- 小学生
- 大人
- 中高生

グループ所属のSPTが講座の講師を担当
担当講師が講座内容とスライド作成を担当しています。

メディア・イベント

2022.8.9 メディア



TKUテレビ熊本 かたらんね
夏休み前に、性教育無料動画のご案内や親子で学べる性教育サイトについてご紹介させていただきました。

2022.9.5 メディア



熊本日日新聞
9/2に七城小学校で4年生を対象に性教育講座を実施した様子を記事にさせていただきました。

2022.12.17 メディア



西日本新聞
法人活動取材いただきました。性教育サイト、冊子、相談窓口、全国アンケートについて記載いただきました。

2022.8.9 メディア



くまにち キャロット
幼児期からの性教育について座談会と取材を通し、大切なことを掲載していただきました。

2022.10.15 イベント



女性のためのつながるマルシェ (相談ブース)
性教育の絵本紹介や生理用品の展示させていただきました。

2023.2.11 イベント



男女共同参画センター パレア 「すごいぞ!!ぼくたち、わたしたちの体と心の変化」
小学生向けにキラキラのシールやモコモコの毛糸を使って、男女の体の変化を学ぶワークショップを開催しました。

2023.2.25 イベント



包括的性教育のはじめかた
特別講師:遠見才希子先生
学生時代から性教育講師として活動し、現在は産婦人科医としても活躍される遠見先生をお招きし、包括的性教育について大人むけにお話をいただきました。

2022.8.9 イベント



「このとりのゆりかご」上映会
協賛:ママトコキッチン
理事の田尻由貴子先生をゲストに、由紀子先生の実体験をもとにしたドラマ「このとりのゆりかご」を上映し、先生のお話を開催しました。

せいしとらんし熊本SPTのミリョク!

NPO 法人せいしとらんし熊本は各地域や分野で性教育講師として活動したい人たちに応援するためにできた団体でもあります。今回 2022 年度に活躍した SPT の 2 人をご紹介します。

SPTとは10ヶ月間(50時間)の
SPT養成講座を修了したせいし
とらんし熊本認定登録講師です。

Sexually education (性教育)
SPT… **P**ower of life (生きる力)
Teach people (伝授者)

#性とは「自分そのもの」



さおりん 藤野 早織 📍 東京都

1979年3月、三重県の小さな漁師町で生まれる。看護師だった姉の影響を受け、看護の道に進む。看護学校卒業後は小児科で勤務するも、結婚を機に保育園で働く看護師の存在を知り、保育園看護師として子どもたちと楽しい日々を過ごすように。そんな中、勤務先の保育園で子どもたちに性教育を届けたいと思うようになり、NPO法人せいしとらんし熊本にて性の学びを始める。認定講師となった後は活動の場を地域に広げ、現在は地域のみなさんや保育園幼稚園の先生方に向けて、楽しんで性について学べる時間を届ける活動をしている。

Q1. 2022 年度の性教育講師としての活動について

2022年6月、ずっと大切にしてきた保育園看護師としての仕事を手放し、性教育講師として一步踏み出しました。地域のみなさんに性教育を届けさせてもらうようになって、2年目。私ひとりでは繋がることの叶わなかったであろう方々との出会いや、沢山の場所でのおはなし会などなど、昨年度から少しずつ蒔いてきた種から芽が出てきているのを感じています。この芽は、私ひとりの力では到底どうすることもできなかったと思っているので、これからはほほえみーを応援して下さるみなさんと一緒に大切に育てていきたいと思っています。



Q2. 性教育講師になろうと思ったきっかけは?

私自身の卵巣嚢腫の経験が、一番大きなきっかけになっています。例えば友だち同士でもなかなか話すことのない生理のこと。もっと自分のからだのことで、気楽に当たり前に話せる社会になって欲しいって思っていて…。私のように“もっと早く知りたかった”と思う人がひとりでも減って欲しいし、同じように思っている人にも寄り添いたい。そんな思いがあるから“生理のおはなし会”には、特に力が入っちゃいます。

Q3. 性教育を通して伝えていることは?

ほほえみーの性教育のテーマは“からだがいいな”。子どもたちにも大人にも自分のからだと楽しく暮らしてもらいたい。あなたが大事だよを届けたいとは思っているけど、なかなか難しいですね。一緒に過ごさせてもらう時間の中で、子どもたちにもママたちにも“あっ、大事にされてる”って感じてもらえるような関わりが出来たらいいないつも思っています。



Q4. 今後の活動はどんなことを考えていますか?

「さおりさん、きたよ!」「ねえねえ、聞いて〜」と子どもたちが自分たちで気軽に遊びに(相談に)来れる場所が作りたいんです。もちろんママたちの憩いの場所としても。お庭で育てたハーブでお茶したり、カレー作って食べたり…あっ、性教育のおはなし会も時々しようかな笑

2019年3月から第1期のSPT養成講座を開始し、2022年度までで48名が北海道から沖縄までの各都道府県から集まり、SPT養成講座を受講しています。2022年度には第10期から12期の17名が講座を修了し、16名が認定講師となり活動をスタートさせています。
ホームページにて講師一覧が確認できます。
ぜひ右側のQRコードからご覧ください。



#性とは「心が生き生きすること」



なっちゃん 松本 なづな  東京都

1986年生まれ。空想癖のある一人っ子で、中2から不登校に。生きづらく苦しい10代を過ごす中、22歳で出産して地域の子育て支援に支えられた経験が転機となる。2012年から子育て支援に携わり始め、ファシリテーター、親支援プログラム講師、不登校の子どもの居場所作り等を担当。33歳で一念発起して通信制大学へ入学。2023年3月に社会福祉士となる。性教育はグループワークを取り入れた参加型の講座スタイルを基本とし、地域レベルで出会い・体験・学びの場作りを行なっている。

Q1. 2022年度の性教育講師としての活動について

2022年は小学校・中学校を中心に講座の機会をもちました。その中で自分達の講座スタイルが大分確立されてきたなと思います。「講師」として一方的に話すよりも「一緒に考え学ぶ」という手法が自分たちの強みだと気づきました。また、大学生がボランティアとして協力してくれたり、関東地域のSPTや性教育仲間が手伝いに来てくれたりと、一つの講座をするごとに縁が広がり、お互いの相互作用で学びが深まっています。



Q2. どうして性教育講師になろうと思ったのですか？

出産が大きなきっかけです。たくさんの人に支えられてなんとか子育てをしてきて、恩返しのため子育て支援の世界に入りました。親支援プログラムのファシリテーターや、不登校の子どもの居場所づくりに携わりながら、自分が大切にしたいことが包括的性教育に集約されていると感じ、勉強を始めました。暴力や虐待をなくしたいという思いが強いです。私自身の不登校体験や生きづらさ、親子関係のつまずきも原動力になっていると思います。

Q3. 性教育を通して伝えていることは？

「今私の目の前にいるあなたは素晴らしい」という想いで性教育をしています。が、そのままの言葉では伝わらないとも思っています。私は自分の生にOKを出せるようになって初めて「生きることには価値がある」と思えるようになりましたが、余裕が無い時に人から言われても腑に落ちなかったらうなど。なので、性教育を通して新しい視点・価値観・自分の気持ちや可能性に「気づく」「感じる」ことを大切にしています。



Q4. 今後の活動はどんなことを考えていますか？

人材育成に携わりたい気持ちがあります。といっても、私が何か指導をするということではありません。参加・学びの機会を創出し、その体験を通して考え、考えたことをアウトプットする、そんな元々持っていた力をエンパワーするようなきっかけ作りに関わりたいです。

これからのせいしとらんし熊本

今年度の活動を踏まえ、来年度もこの世に生きるすべての人に、正しい性知識をお届けするため、以下のことに力を入れ活動して参ります。

学習・相談事業の充実

1 各機関との連携

- 相談を待つだけでなく、予防的な関わりを強化
- 必要な子供や家庭に支援が届くようプッシュ型・アウトリーチ型支援（訪問支援）を実施

【主な訪問先】

■ 児童養護施設



■ 学校



■ 住宅会社



■ スポーツクラブ



2 事務所移転

現在の事務所は主に事務を行う1部屋のみのため、今後は子どもや大人の相談や少人数の学習会に適した環境を整えていく。



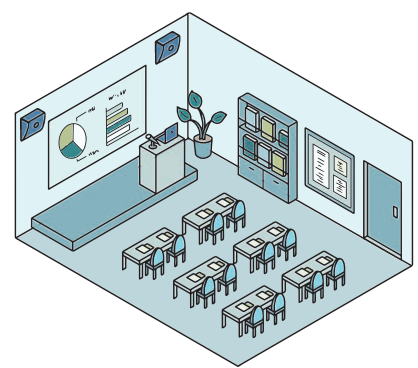
■ 個別相談スペース



■ オンライン学習スペース



■ 事務スペース



■ 少人数学習スペース

アンケート調査の開示

実態調査の開示（熊本県）

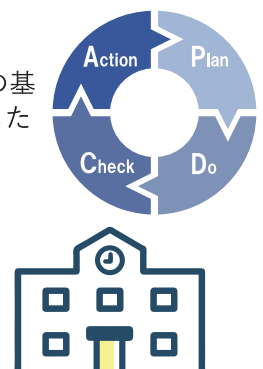
- 保護者と支援者（教員や子供の居場所となっている場所のスタッフ）との性教育に対する意識の差を少しでもなくすことが課題
- アンケート結果をもとに関係機関に働きかける
2023年度子ども家庭長の「6つの子ども政策の理念」の1つである「こども政策の基本理念のこどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立データ・統計を活用したエビデンスに基づく政策立案、PDCAサイクル（評価・改善）」をもとに実施



■ アンケート調査



■ 分析&立案



■ 各機関に働きかけ

実現したい未来のために 「つるんでつんのうで」(=共に育み支え合う)



定款改定

当法人は、2023年度、5期目を迎えます。主に学習会(講演・講座・お話し会等)を、出向いて、またはオンライン上で行ってききましたが、これまで活動した中で感じたことは、誰もが拠り所となる居場所の必要性です。一般的に【性教育=居場所づくり(孤独をなくすこと)】に結びつかないことから、それをどうわかりやすく表現するかを考えた結果、定款変更を行うことが最善と思っています。その居場所があることで、具体的な事業の展開につながることも確信しております。

1 変更案

第2章 目的及び事業
(目的)

第3条 この法人は、熊本県内外の子どもから成人までのあらゆる人々を対象に、主として性教育に関する事業を行い、生命の誕生や自身の体の尊さ、他人との違いを認め、誇りをもって生きることができるとともに、相談・学習・遊び等の場を提供することで、孤独をなくし、支えあう地域の実現に寄与することを目的とする。

【変更案】第3条 この法人は、熊本県内外の子どもから成人までのあらゆる人々を対象に、生命の誕生や自身の体の尊さ、他人との違いを認め、誇りをもって生きることができるとともに、相談・学習・遊び等の場を提供することで、孤独をなくし、支えあう地域の実現に寄与することを目的とする。

2 変更案

(事業)

第5条 この法人は、その目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

【変更案】

(1)性教育に関する事業

- ① 性教育学習会
- ② 性教育講師養成講座
- ③ 性教育教材の開発、作成、販売
- ④ 性教育に関する情報提供

(1)性教育に関する事業

- ① 性教育学習
- ② 講師養成
- ③ 教材の開発、作成、販売
- ④ 性教育に関する情報提供

(2)地域のコミュニティ形成に関する事業

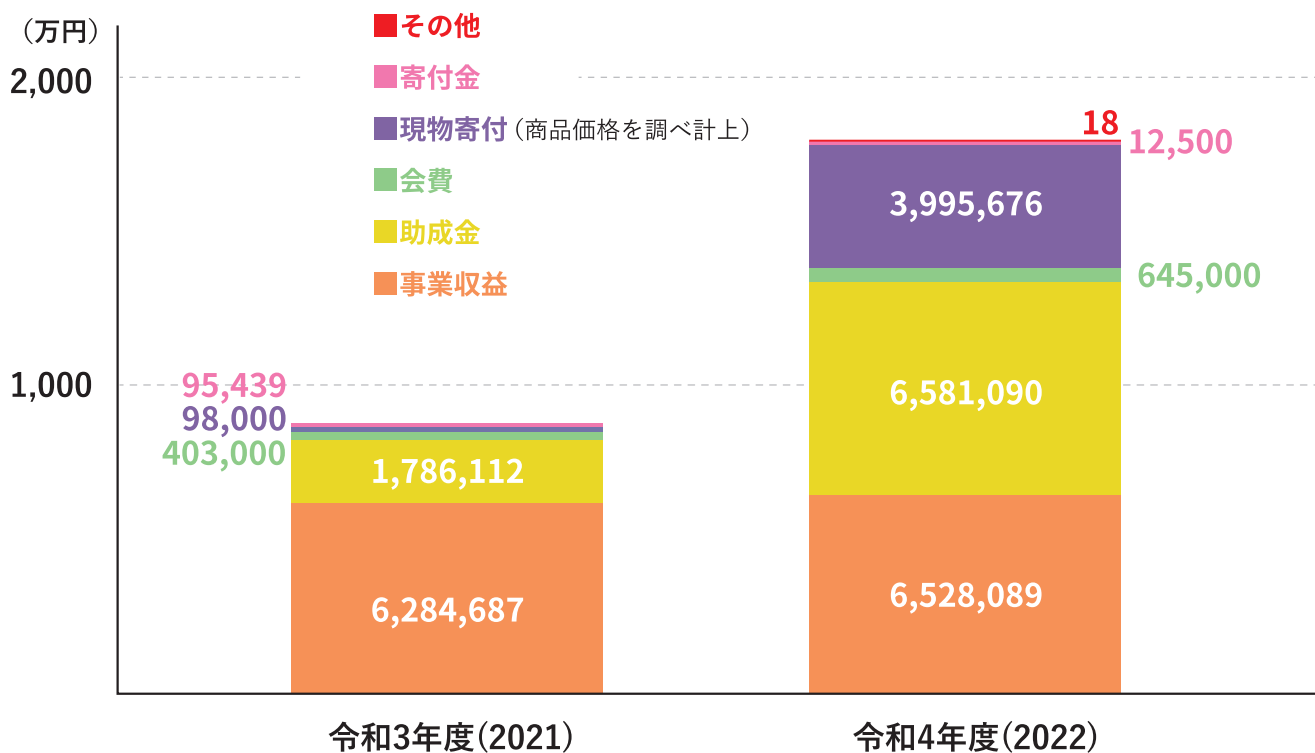
- ① コミュニティスペースの運営
- ② 相談サポート事業
- ③ 学習支援事業
- (3)その他、目標を達成させるために必要な事業

NPO 法人せいしとらんし熊本のさらなる飛躍のため、これからもご助言、ならびにご支援のご協力をよろしくお願いいたします。

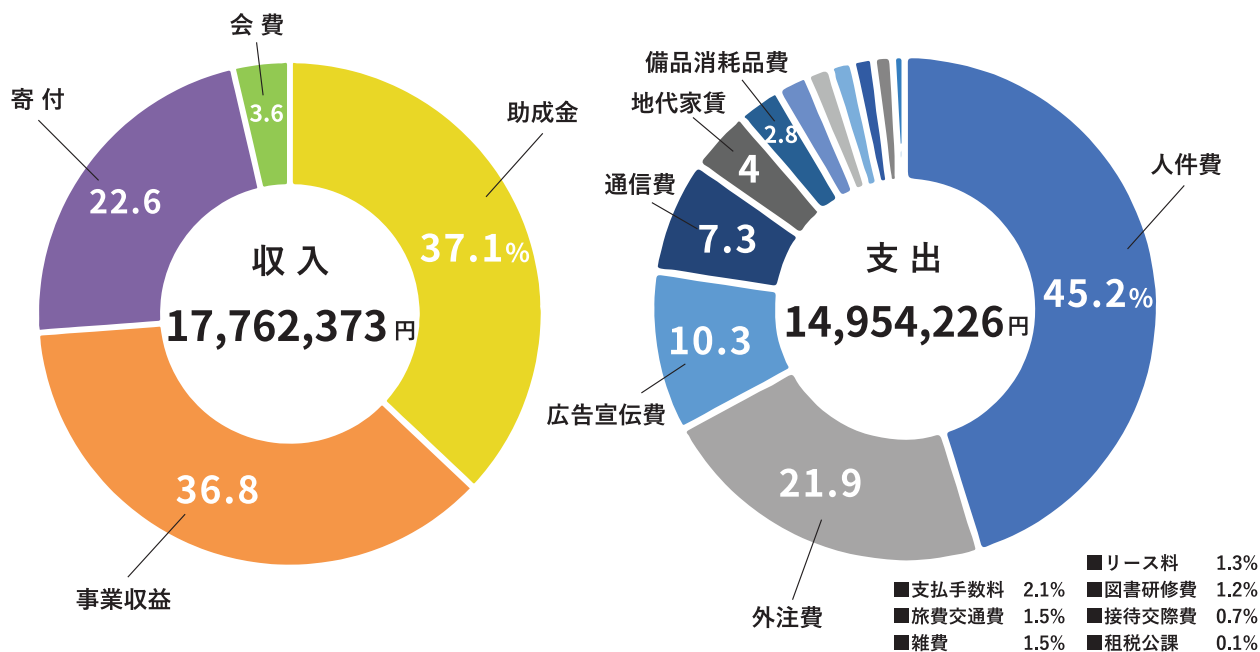
収支報告

2022年度は特に休眠預金活用事業である「新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成」にて、約500万円の助成をいただいたことで、事業の拡大、事務局運営の基盤強化を図ることができました。また、物品寄付として、たくさんの商品をいただき、講演やイベント等に活用しております。2023年度は、いまのところ2つの助成に採択いただいております。本年度もその他、助成金の申請をしていきますが、採択されなければ、なにもなしえない現実もございます。誰もが学べる場所を作り、事業の継続性を高め、継続的で安定した組織運営の基盤強化を図っていかうと考えております。本年度も変わらぬご支援の程、宜しくお願いいたします。

収益推移



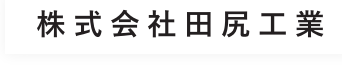
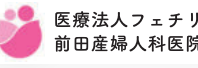
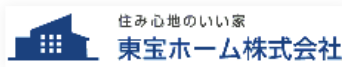
2022年度収益内訳



支えてくださった企業・団体・個人のみなさま

みなさまのお力添えで、当法人は性教育をお届けできています。
いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

団体会員



賛助会員

50名

正会員

17名

ご寄付

ジャパンメディカル株式会社 / 中西ゴム工業株式会社 / 株式会社 TENGA / ジェクス株式会社 / JEWLINGE / 橋本 阿姫 / MIKING∞369 永森美紀




今年度もご支援のほどよろしくお願いたします。


マンスリーサポーター募集中!

当法人ではマンスリーサポーターを随時募集しております。毎月コーヒー1杯分のご寄付で、日本の未来を明るく・大きく成長させる一歩につながります。せいしとらんし熊本と一緒に性教育で日本の未来をより良いものにしていきませんか。みなさまのお力添えをいつでもお待ちしております!

右のQRコードよりお申込みが可能です。(詳しくは下のQRコードよりご確認ください。)





毎月コーヒー1杯分のご寄付で
社会を大きく変える1歩につながります。



毎月 **500円**～
決済方法 **オンライン決済**

マンスリーサポーター
毎月定額の寄付で
活動を応援する方法





団体名	NPO法人せいしとらんし熊本
住所	熊本県熊本市北区徳王2丁目1-48
tel.	096-323-6070
email	info@seirankumamoto.com
理事	中村 和可子 / 松元 かおり 安田 香織 / 田尻 由貴子
監事	橋本 博

2023年7月発行 2022年活動報告